

## 成果目標、成果指標との関連におけるデータの取り扱い及び達成目標について（資料イメージ）（案）

「ESD 推進ネットワークの目標等」（平成 29 年 3 月、ESD 活動支援センター）に基づき、評価指標に基づく評価に使用するデータの取り扱い、また、全国センターと地方センターとの連携のもとに達成を目指す達成目標（平成 31 年まで）を示すことが求められる。このプロセスは、今後数か月をかけて ESD 活動支援センター（地方センター）の開設状況をみつつ、ESD 活動支援センター企画運営委員会等の指導助言を仰ぎ取りまとめていく必要があるが、今後の議論の参考となるように、資料イメージ（今後の議論に向けた枠組みの参考）を示すものである。

目標項目	1. 成果目標 Outcome （平成 31 年度までにネットワークが実現していきたい状況） [既決定事項]	2. 具体的な評価の物差しと達成目標（案） 本欄は、達成目標の記載形式（定性的、定量的）およびその具体的なあり方を含めた議論のための例示	3. 評価指標 Indicator [既決定事項]	4. より具体化された評価指標データ案 【 】内は、本資料で検討のために新たに提案するデータ及び出所の案
1. 情報	① ESD 活動支援センター（全国・地方）が収集、整理、蓄積、共有する情報が ESD を深めるために（質的向上）、また広めるために（量的拡大）、有用なものになっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一定量以上のタイムリーな情報がウェブサイト、フェイスブック、ツイッター等を通じて発信されている。</li> <li>● それらの情報へ一定量以上のアクセスが行われている。</li> </ul>	利用者にとって情報は役立っているか。	<p>【ESD 活動支援センター（全国・地方）からの発信情報の件数およびアクセス数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブサイトからの情報発信件数</li> <li>・ウェブサイトへのアクセス数</li> <li>・フェイスブック、ツイッターによる情報発信件数</li> <li>・フェイスブック、ツイッターのリーチ数</li> <li>・メルマガの発行数×配信数等</li> <li>・オフラインによる情報発信状況（セミナーや交流会での参加者アンケート等により、それら情報発信効果を把握）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域 ESD 拠点において、概ね満足以上という回答が〇〇%程度以上である。</li> </ul>		<u>地域 ESD 拠点年次アンケート</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 質問項目：全国センター、地方センターからの情報発信・情報提供（インターネット及び対面等）に対する満足度の5段階表示</li> </ul>
2. 支援体制	<p>② ESD 活動支援企画運営委員会（以下「企画運営委員会」）が、総合的な ESD 活動支援方策の検討やその実現に向けた全国センターへの指導・助言を行うための体制が整備されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企画運営委員会で、ESD 活動ネットワークの効果的・効率的な活動に資する検討やその実現に向けた全国センターへの指導・助言が行われている。</li> </ul>	<p>企画運営委員会で ESD 活動支援方策に関わる議論が行われているか。</p>	<u>企画運営委員会議事録</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画運営委員会において議論された活動支援方策と指導助言内容</li> <li>・企画運営委員会の指導助言により改善された事項</li> </ul>

	<p>③ ESD を推進する多様な主体が参画する官民協働プラットフォームとしての ESD 活動支援センター（全国・地方）の整備が進み、ESD 活動に対する支援体制が機能している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての ESD 活動支援センターが開設・運営されている。</li> <li>● 全国レベルのネットワークについて、協力組織・団体の数とタイプ、全国センターとの連携の程度、協力組織・団体の取組の多様性等に関し、経年的な改善がみられる。</li> <li>● 地方レベルを含むネットワーク全体の可視化ツールが開発され、ネットワーク全体の支援体制の整備の進展が確認できる。</li> <li>● 相談・ヒアリング等により地方センターが自らの広域ブロック内の具体的なニーズを把握できている。</li> <li>● 相談対応により「ESD を広める＋深める」が進んだ好事例が、各広域ブロックご</li> </ul>	<p>ESD 活動支援センター（全国・地方）の活動に多様な主体が参画しているか。</p> <p>（ESD 活動に対する支援体制が整備されているか。）</p> <p>相談対応・ヒアリング等を通じて ESD 活動現場のニーズが把握され、効果的な支援が行われているか。</p>	<p>【ESD 活動支援センターの開設に関する記録】</p> <p>【ESD 活動支援センター（全国・地方）企画運営委員会（仮）委員の所属団体リスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報道発表、ウェブサイト開設、全国・地方の企画運営委員会の設置要綱等</li> </ul> <p>ネットワーク可視化ツールデータ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国レベルのネットワーク可視化ツールによる全国レベルの協力組織・団体の取りまとめデータ</li> <li>・地方レベルを含めたネットワーク全体の可視化手法に基づく支援体制の整備状況に関するデータ</li> </ul> <p>【地域 ESD 拠点の支援メニュー一覧表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙を基本として地方センターが作成する地域 ESD 拠点の支援メニュー一覧</li> </ul> <p>相談対応・ヒアリングの件数、内容・好事例</p> <p>内容の分類案：センター、ネットワークについての問い合わせ、政府の ESD 関連施策問い合わせ、教材・ツール、講師等人材紹介、研修・事業の企画運営、資金助成・寄附、後援等名義使用、交流機会、その他</p>
--	---	--	---	---

		<p>とに複数確認できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談に関する好事例が、ESD活動支援センター（全国、地方）の間で共有されている。</li> <li>● 後援名義等使用許可件数が<u>毎年一定程度得られている</u>。</li> </ul>		<p>【後援名義等使用許可実績リスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESD活動支援センター（全国・地方）による後援名義等使用許可の実績一覧表</li> </ul>
--	--	--	--	---

	<p>④ 地域 ESD 活動推進拠点 (以下「地域 ESD 拠点」) の創出、形成、強化が進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各広域ブロックにおいて、基本的に、<u>毎年地域 ESD 拠点が増加する。</u></li> <li>● <u>全ての都府県(北海道にあつては6圏域のすべて)で、少なくとも一つの地域 ESD 拠点が登録され活動している。</u></li> <li>● 全ての広域ブロックで、<u>以下に示される GAP の優先行動分野での活動を行う地域 ESD 拠点が少なくとも一つ以上ある。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 政策的支援</li> <li>- 機関包括型アプローチ</li> <li>- 教育者</li> <li>- ユース</li> <li>- 地域コミュニティ</li> </ul> </li> <li>● 全ての広域ブロックで、<u>以下に示されるセクターの主要なステークホルダーが登録されている地域 ESD 拠点がある。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教育関係機関・そのネットワーク</li> <li>- 学術研究機関・そのネットワーク</li> </ul> </li> </ul>	<p>学校教育、社会教育、地域、職場等での ESD 実践の支援が可能であるように地域 ESD 拠点が全国に形成されているか。</p>	<p><u>地域 ESD 拠点リスト</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リストは、広域ブロック別に整理し公開。</li> <li>・平成 30 年以降、地域 ESD 拠点の形成進展度合いを踏まえ、DB 化の可能性を検討する。</li> </ul>
--	---	---	--	--



		<p>形成・強化に役だったとするアンケート回答が〇〇%以上である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケート回答から<u>全体の〇〇%以上の地域ESD拠点</u>がESDの認知度やESDに対する理解が前年度より進んでいると認識している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESDの認知度やESDに対する理解は前年に比べて進んでいると感じられるか。</li> </ul>
	<p>⑥ 地域の様々な課題への取組や政策にESDの視点と手法が取り入れられていると同時に、多様な学びの場とそれを支える政策にESDの視点と手法が組み込まれ学びの質を高めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の様々な課題への取組や政策にESDの視点と手法が取り入れられているような事例が各広域ブロックで毎年度少なくとも概ね<u>1件以上</u>整理され、発信されている。</li> <li>● ESD活動支援センター（全国・地方）に提案、要望がよせられ、それらがESD活動支援センター（全国・地方）の活動等に反映されている。</li> </ul>	<p>全国センターは、<u>関連事例を把握</u>しているか。</p>	<p>【全国センターによる関連事例の把握状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブサイト等に掲載した事例の数とタイプ</li> <li>・個別ヒアリング</li> </ul> <p><u>地域ESD拠点年次アンケート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 成果目標にあるような事例への関与（参画、助言、提案等）の有無及び好事例の内容（例えば、教育委員会指導資料（学校、社会教育）でのESDへの言及、自治体の環境基本計画等でのESDへの言及などが考えられるので、項目を示したうえで、詳細は自由記述で書いてもらう。）</li> <li>● 成果目標にあるような状況を生み出すための提案、ESD活動支援センター（全国）・地方への要望等</li> </ul>
4. 人材育成	<p>⑦ 既存の研修等を活用し、多様な場でESD研修が実施されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>ESD活動支援センター（全国・地方）および地域ESD拠点</u>のESD研修への企画提案・実施協力の実績が毎年</li> </ul>	<p>ESD研修は広がっているか。</p>	<p><u>研修企画提案・実施協力実績</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESD活動支援センター（全国・地方）によるESD研修の企画提案への支援、実施協力リスト、好事例</li> </ul> <p><u>地域ESD拠点年次アンケート</u></p>

	<p>度得られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ESD 研修の広がりを示す好事例が毎年1件程度以上整理され、発信されている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESD 研修の企画提案・実施協力の件数、内容、好事例</li> </ul> <p>【全国規模、広域ブロック規模での ESD 研修・ESD を取り込んだ研修の事例】</p>
<p>⑧ 多様な分野・セクターに ESD を推進する多世代の人材が育成され、活動の場を広げている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各広域ブロックにおいて、人材の発掘や育成またはそれらにつながる動きを確認できる。</li> <li>● 支援メニューの多様化が毎年進んでいる。</li> </ul>	<p>ESDを推進する人材の育成は進んでいるか。</p>	<p>地域 ESD 拠点年次アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の ESD が実践され、支援者の掘り起こしは進んだか（事例）</li> <li>● ESD 推進ネットワークの活動に関わったことによる、地域の人材のスキルアップ、活動機会の拡大は確認できるか（事例）</li> <li>● インターンや研修生受け入れ等によるオンザジョブトレーニングは行われたか？ その場合には、その人数、期間、研修内容等</li> </ul>



別紙

協力組織・団体による支援メニュー

各地方センターにより、地域 ESD 拠点が行っている支援メニューにチェックして一覧表を作成する。

機能分類	選択項目（支援メニュー）	地域 ESD 拠点 A	地域 ESD 拠点 B	地域 ESD 拠点 C		地域 ESD 拠点 I	地域 ESD 拠点 J	地域 ESD 拠点 K
<b>〔立地拠点機能〕</b> ※立地特性を活かした現況認識と、知見の共有、施設・資料の活用。	1. <b>〔調査・情報収集〕</b> 地域拠点としての情報収集、調査実施等							
	2. <b>〔活動展示・紹介〕</b> 企画展示、視察等受け入れ等							
	3. <b>〔施設・資材貸与〕</b> 会議室貸与、会合スペース貸与、資材貸与等							
<b>〔変革促進機能〕</b> ※現状の課題を可視化、課題解決プロセスにエネルギーを与え、プロセスを開始。課題の捉え直し。共感・モチベーションの向上。	4. <b>〔活動奨励〕</b> 後援・共催・協力名義、表彰（コンテスト等）							
	5. <b>〔共同企画・実施〕</b> プロジェクト等の共同企画、共同実施等							
	6. <b>〔政策コミュニケーション〕</b> 政策に関する学習機会提供、政策提言等							
<b>〔プロセス支援機能〕</b> ※変革プロセスのあらゆる領域のシステムを支援（例：関係性の構築、ニーズ把握、社	7. <b>〔広報協力〕</b> 取組事例の情報発信、イベント等の周知協力、情報編集協力等							
	8. <b>〔コーディネーション〕</b>							

会的学習の構築、解決法の探究と導入、等)	関連団体の活動間の連絡・調整、利害関係者調整、ネットワーク化・協働プロセス支援等							
	9. [ファシリテーション] ワークショップ等によるファシリテーション、合意形成・学習プロセス支援等							

<b>[資源連結機能]</b> ※効果的な問題解決には、ニーズと資源の連結が必要 (例：人、資金、機会、解決策、アイデア、暗黙知・形式知、用語、等)	10. [情報提供] 研修等の講師紹介、会議場斡旋、関連団体・関連イベント等紹介、潜在的資金源（助成）情報提供、その他関連情報提供等							
	11. [資源提供] 人材提供（講師派遣、研修等の講師紹介）、物品供与（教材提供、その他 ESD 関連ツール提供）、直接的資金提供等							
	12. [機会提供] 交流機会提供（協議会開催、全国／地方フォーラム開催）等							
<b>[問題解決提示機能]</b> ※単に解決法を提示するだけでなく、その解決法がももとのニーズや懸念にどう影響を及ぼすのかを認識する必要あり。	13. [相談対応・助言（活動）] 活動への助言等							
	14. [問題解決策の提示] 教材・ツール・教案等の開発支援、ESD 活動ノウハウの提示等							
	15. [相談対応・助言（組織）] 組織運営への助言等							
	16. その他 (具体的に)							

注：機能分類と説明は、佐藤・島岡（2014）、Havelock, R. G., & with Zlotolow, S.（1995）に基づき、一部加筆修正